
嘘

弥生七

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

嘘

【コード】

N4991P

【作者名】

弥生七

【あらすじ】

日常で感じたことをまとめた詩です。第三弾。

言葉にすれば楽になる
言葉にすればつらくなる
それは紙一重だから
いつも迷うのだ
耳を塞いでいても
聞こえてしまう声
壁を隔てた向こう側
どうすれば疑われず済む
いつそ耳を潰すか
そんなことまで考える
不思議だ
僕はだんだん醜くなる
赤く染まる自分に憧れるほど僕は壊れてしまった
君はまた僕を嘲るだろう
こんな僕を嘲るだろう
正しさの中に理不尽さを少し紛れ込ませながら
僕はどう反応したらいい
もう笑い方まで忘れてしまっそうだ
なんて嘘だよ
全部嘘つきの戯れ事さ
きつとね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4991p/>

嘘

2010年12月14日22時34分発行